

池上百竹亭コレクション展示室

茶の湯の世界

会期／令和五年

一月十一日（水）～四月二十三日（日）

池上百竹亭コレクションは、文人・池上喜作（号・百竹亭、一八九〇ー一九七八）が蒐集した近代文芸資料を主とする二二一点からなり、そのうち二十三点が茶道具です。もともと茶人であった喜作は、邸内に茶室を設け、来訪した文人や作家をもてなしていました。

雑誌『白樺』を通じ交流のあった柳宗悦との出会いから、喜作は民藝運動にも積極的に参加し、昭和二十一年に設立された日本民藝協会長野県支部では初代支部長を務めました。民藝運動の中心的な作家である濱田庄司、黒田辰秋の作品をコレクションに迎えるなど、喜作の民藝への関心は「茶」に関する蒐集にも大きな影響を及ぼしました。

日々の暮らしの中で、日常的に使うものに美しさを見出した民藝。今回は、お茶席で実際に使われることを前提とした茶道具をご紹介します。春の季節に合わせた掛軸と共にお楽しみください。



[上] 黒田辰秋《金鎌倉 捻梅香合》



[下] 香取秀真《鉄瓶 縹口八角形》



[上] 濱田庄司《茶碗 銘・東山》



[下] 千宗室《黒大棗 菊桐蒔絵》



平福百穂《梅の画》



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22
TEL.0263-39-7400
<http://matsumoto-artmuse.jp>